

ひ た ぎ おんばやし
●日田祇園囃子●

<p>えんそうする ちいき</p>	<p>おおいた ひ た 大分県日田市</p>	<p>えんそうする お祭り</p>	<p>ぎ おんまつり 日田祇園祭</p>
<p>お祭りの とくちょう</p>	<p>お祭りについて</p> <p>◇ 毎年7月下旬に、日田市にある隈八坂神社、竹田若宮神社、豆田八坂神社で行われる祇園祭です。</p> <p>◇ でんせん病や水害から身をまもり、おだやかにすごせることをねがって行われるお祭りです。</p> <p>山ぼこについて</p> <p>◇ 日田祇園祭ではだしのことを山ぼこといい、9基の山ぼこが町を回ります。</p> <p>◇ ちょうちんでかざられた山ぼこが町を回ることを「晩山」といい、見どころのひとつになっています。</p> <p>◇ お祭りがはじまる2日前には、日田駅前に9基の山ぼこがせいぞろいして、「集団顔見世」が行われます。</p>		
<p>祭りばやしの とくちょう</p>	<p>使われる楽器について</p> <p>◇ 使われる楽器は、ふえ、たいこ(平だいこ)、小だいこ(しめだいこ)、しゃみせんです。</p> <p>◇ ふえ4～6人、たいこ・小だいこ1人、しゃみせん1人でえんそうします。</p> <p>◇ ふえは、中国からつたわったといわれる「明笛」というふえを使います。</p> <p>◇ たいこと小だいこは1人でえんそうします。たいこ(平だいこ)は左横、小だいこ(しめだいこ)は前におきます。「平だいこ」は、長胴だいこにくらべて、胴が短いたいこです。</p> <p>囃子のしゅるいについて</p> <p>◇ 30以上の曲がつつたえられており、「道囃子」と「役物」に分かれています。</p> <p>◇ 山ぼこが町を回るときには、「道囃子」をえんそうします。</p> <p>◇ 山ぼこが発発するときや、小屋におさめるときなどは、「役物」をえんそうします。</p>		